

平成24年度
筑波大学法科大学院
[ビジネス科学研究科法曹専攻]
(専門職学位課程) 入学試験

論文試験問題

(150分)

受験番号	氏名

注意事項

- 1) この問題冊子の表紙に、受験番号、氏名を記入してください。
- 2) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。
- 3) 試験開始後、この問題冊子が1～10頁であること、答案用紙が3枚（1枚目；問Ⅰ、2・3枚目；問Ⅱ）あることを確認してください。
- 4) 試験開始後、3枚の答案用紙それぞれに、受験番号を記入してください。
- 5) 筆記用具は、鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。消しゴムを使用することができます。
- 6) 下書きは問題冊子の2頁及びその他の頁の余白、裏面を適宜利用してください。
- 7) 問題冊子は持ち帰ることができません。答案用紙とともに提出してください。
- 8) 試験開始後30分間、試験終了前10分間は、退出できません。

(余白頁) 下書きはこの頁やその他の頁の余白、裏面を利用してください。

問Ⅰ 以下の文を読んで次の問いに答えなさい。(注：法律の専門的知識を問うものではありません。)(配点30点)

(Ⅰ-1)

傍線₁〇〇部分における「不正常な関係」とは具体的にどのようなことを指しているか。本文の内容を踏まえて100字以内で解答しなさい。(10点)

(Ⅰ-2)

傍線₂〇〇部分における「社会と人びとを『いやし、ほぐし、つなぐ』機能」とは具体的にどのようなことを指しているか。本文の内容を踏まえて100字以内で解答しなさい。(10点)

(Ⅰ-3)

傍線₃〇〇部分、「もっと学校と教師の実像をわかってもらう」ためにはどのようなことが必要だと考えられるか。本文の内容を踏まえてあなた自身の意見を200字以内で述べなさい。(10点)

本文については、著作権法により公表しておりません。

[問Ⅰの文]

出典：小野田正利「悲鳴をあげる学校」〔旬報社、2006年〕より抜粋

*ただし、出題に際して、見出し及び文章の一部を省略している。

問Ⅱ 以下の文を読んで次の問いに答えなさい。(注：法律の専門的知識を問うものではありません。)(配点70点)

(Ⅱ-1)

傍線部①において筆者は、「しかしながら、この種の利益意識の向上が権利意識の向上をもたらさなかったのはなぜであろうか？」と述べていますが、筆者は、利益意識と権利意識の違いをどのように捉えているか、150字以内で解答しなさい。(20点)

(Ⅱ-2)

傍線部②において筆者は、「支配体制の側からみれば、日本くらい国民を管理しやすい国はめずらしいのではなかろうか。」と述べています。筆者は、日本のどのような社会構造その他の特色が支配体制にとって管理しやすい国とさせていると指摘しているか、150字以内で解答しなさい。(20点)

(Ⅱ-3)

国民の権利意識を向上させるために、どうしたらよいか、あなたの考えを300字以内で自由に述べなさい。(30点)

本文については、著作権法により公表しておりません。

[問Ⅱの文]

出典：渡辺洋三「法を学ぶ」(岩波新書、1986年)

*ただし、出題に際して、見出し及び文章の一部を省略している。